

下肢血流モニタリングを用いた REBOA（経カテーテル的大動脈バルーン遮断）の使用法における関する研究のお知らせ

大阪府立中河内救命救急センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2024年8月7日 ～ 2027年3月31日

〔研究課題〕 下肢血流モニタリングを用いたREBOA（経カテーテル的大動脈バルーン遮断）の使用法における関する研究

〔研究意義〕 **〔研究目的〕** 外傷患者における REBOA 挿入患者に対し、大腿動脈、上肢の動脈をそれぞれモニタリングすることで、より確実に効果的な REBOA による血流遮断につながり、より安全で、より確実な治療介入につながる可能性がある。

〔対象・研究方法〕 2024年8月7日から2027年3月31日までに大阪府立中河内救命救急センターに搬送された患者で、REBOAを挿入された患者が対象となります。

〔倫理的配慮・個人情報の取り扱い〕 今回の研究は観察研究であり、通常診療を行っている中でのデータを研究使用するため、患者に追加でかかる負担はありません。また個人情報の保護のため、登録については無記名であり、個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号等）は入力されないため、対象者個人の不利益になることはありません。倫理委員会などの承認を受けた解析担当者のみが登録された情報を利用できます。本研究における情報管理責任者は松井 佑起です。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者: 所長代行 岸本 正文 情報管理責任者: 医長 松井 佑起

住所: 大阪府東大阪市西岩田 3-4-13 TEL: 06-6785-6166, FAX: 06-6785-6165